

だんじり祭りの文化と供に

～通年を通しての地車見学会～

阪南大学 国際観光学部

清水ゼミ

田淵 成美 山村 若菜

口脇 円佳 中木 千晴

林田 明里

目次

1 章 研究の背景と目的

- 1-1. 研究の背景と目的
- 1-2. 研究方法

2 章 事前調査

- 2-1. 岸和田市の概要
- 2-2. だんじりの歴史
- 2-3. 岸和田城、だんじり会館への訪問客数の推移
- 2-4. 岸和田市営駐車場利用台数の推移
- 2-5. 先行事例 堺市 ふとん太鼓

3 章 アンケート調査・現地調査

- 3-1. アンケート概要
- 3-2. アンケート結果・分析
- 3-3. ボランティアガイドのまちあるき参加報告
- 3-4. 岸和田だんじり祭り 9月祭礼と10月祭礼
- 3-5. ヒアリング調査
- 3-6. 分析

4 章 岸和田市のこれから

- 4-1. 課題点
- 4-2. 提案

1 章 研究の背景と目的

1-1 研究の背景と目的

府の南部、和泉海岸平野のほぼ中心に位置し、大正11年11月、府下では、大阪市・堺市に次いで第三番目の市として市制を施行。その後昭和13年に土生郷村を、同15年、有真香・東葛城の両村、同17年に春木・山直の両町と南掃守村を、同23年には山滝村を合体して現在の市域となった。市域開発の歴史は古く、市内北東部の摩湯町には摩湯山古墳があり、また農耕地には条理制の遺構も残り、その歴史を物語っている。この地はもと岸とよばれ、建武元年(1334)、楠木正成の一族和田氏が、岸和田城を築き根拠地としたことから「岸の和田氏」とよび、これが岸和田の地名の起りとなった。過去には繊維産業で知られていて、たくさんの企業が出店していた岸和田だが、近年では「だんじり祭りの地」で全国的に知られるようになった。そして、そのだんじり祭りの歴史やだんじり本体の仕組みが間近で見られるだんじり会館がある。ほかにも、楠木正成の一族和田氏が建築した岸和田城では、天守閣で結婚式を行えるプランがあるなどの工夫をしている。さらには、岸和田市は大阪ミュージアム構想の助成金を5年間受け取ることが決定している。そして、その助成金を観光に関しても使っている。それは、どんな観光客にも対応できるようにトイレをバリアフリーに工事し、個人観光客に向けた建築物などの詳細を4ヶ国語対応している案内板を設置、観光の合間に休憩しながら岸和田市の観光情報を入手できる観光交流センターの建設に着手してきた。

しかし、岸和田市は「だんじりのまち」という印象が強いように、実際にもだんじり祭り開催時と普段では観光客数にも波がある。さらに、多くの観光客が訪れているだんじり祭りは9月祭礼で、ほかにも個性的な魅力を持つ10月祭礼も行われている。このように二つのだんじり祭りでもさまざまな色合いの雰囲気や歴史文化がある。そこで私たちは、だんじり文化を観光客にも正確に継承していくことを研究の目的とした。

1-2 研究方法

調査するにあたり、必要であった岸和田市の現状とだんじり文化継承へと導くために以下の調査を行った。

○プロジェクトチーム

田渕成美、山村若菜、口脇円佳、中木千晴、林田明里

○調査方法

- ①文献、インターネットによる事前調査
- ②阪南大学に在学している学生135人によるアンケート調査
- ③現地調査

④岸和田市役所、岸ぶら編集部、岸ぶらブロガーへのヒアリング調査

2 章 事前調査

2-1 岸和田市の概要

岸和田市は、大阪府泉南地域に位置する市である。岸和田藩の城下町を中心に発展してきた人口約 20 万人の特例市。キャッチフレーズは世界にいちばん近い城下町 元気あふれる躍動都市岸和田としているように歴史を大切にしつつ、現代においても変わらずに躍進していく町であることがわかる。岸和田市の名所・旧跡は岸和田城、だんじり会館、久米田池、久米田寺、牛滝山などがある。特産物・名産品は、綿スフ織物、光学レンズ、顕微鏡グラスなどとなっている。中小企業による、機械・繊維工業が盛んである。もともと近郊で栽培されていた綿花を利用した綿織物産業が中心であったが、綿花の栽培そのものがなくなったことと、海外製品に押される形で、かつて数多く立地していた工場の大半が姿を消した。また、国道 26 号以東では典型的な近郊農業が行われている。野菜をはじめとする農産物は各地に出荷されており、包近町は府内最大の桃の産地である。

2-2 だんじりの歴史

約 300 年の歴史と伝統を誇る「岸和田だんじり祭」は、1703 年に岸和田藩主岡部長泰（おかべながやす）公が、京都伏見稻荷を城内三の丸に勧請し、米や麦、豆、あわやひえなどの 5 つの穀物がたくさん取れるようにと五穀豊穰を祈願し、行った稻荷祭がその始まりと伝えられている。当初の祭礼は、「にわか」や狂言などの芸事を演じ、その後三の丸神社、岸城神社へ参拝したようである。

昔は、穀物がたくさん取れるよう祈願したお祭りであったが、今は社会の構造も様子も変わってきた。収穫をともに願い、祝うといったことからはじまった一年に一度の祭りは時代がかわり、社会が変わる中であっても、人々の気持ちの根本に流れる「地域」を結びつける精神は、ずっと、つながっている。

だんじりとは、もともとお祭りのときに曳く出車（だし）や屋台のことで、この車にいろいろなものを飾って、中に人が乗り、囃子（はやし）をしている。だんじりの大きさは、高さ約 3.8m、長さ約 4m、幅約 2.5m、重さ約 4 トンのけやきで作られている。すべて釘を使わずに組み立てられており、だんじりには、住吉型の「上（かみ）だんじり」に対し、岸和田型の「下（しも）だんじり」と大きく二つに分かれている。江戸時代は「三つ屋根だんじり」や「四つ屋根だんじり」があり、城門をくぐるために、屋根

を上下にずらせる「からくりだんじり」などもあった。周囲の彫り物は、源平合戦、大坂夏の陣など戦記物語の名場面を彫り上げた力作で、人馬とも精巧かつ力強く、すばらしいものとなっている。日中は地車（だんじり）が勇壮、豪快に町中を駆け回り、特に勢いよく街角を直角に曲がる「やりまわし」は一番のみどころである。

2-3 岸和田城、だんじり会館への来訪客数の推移

●岸和田城

岸和田城入場者数													(単位:人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	7,596	4,113	3,101	1,505	2,233	3,966	2,646	3,464	1,620	2,128	1,973	3,356	37,701
H23年度	7,110	3,845	3,433	1,801	2,369	4,809	4,820	6,027	3,005	4,845	4,467	7,064	53,595
H24年度	12,491	6,150	4,681	2,404	3,080	5,639	4,445	4,196	1,796	2,542	2,848	6,319	56,591
伸び率(H23/H22)	93.6%	93.5%	110.7%	119.7%	106.1%	121.3%	182.2%	174%	185.5%	227.7%	226.4%	210.5%	142.2%
伸び率(H24/H22)	164.4%	149.5%	151%	159.7%	137.9%	142.2%	168%	121.1%	110.9%	119.5%	144.3%	188.3%	150.1%

●だんじり会館

だんじり会館入館者数													(単位:人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	2,402	2,993	2,661	1,835	2,669	4,779	3,831	3,470	1,835	2,071	441	2,831	31,818
H23年度	3,077	3,085	2,743	2,246	2,468	5,611	6,310	7,092	3,276	5,204	6,753	9,834	57,699
H24年度	8,219	6,680	5,225	3,202	3,320	6,923	6,525	5,283	2,261	2,155	2,484	3,253	55,530
伸び率(H23/H22)	128.1%	103.1%	103.1%	122.4%	92.5%	117.4%	164.7%	204.4%	178.5%	251.3%	1531.3%	347.4%	181.3%
伸び率(H24/H22)	342.2%	223.2%	196.4%	174.5%	124.4%	144.9%	170.3%	152.2%	123.2%	104.1%	563.3%	114.9%	174.5%

2-4 岸和田市営駐車場利用台数の推移

●岸和田市営駐車場

市営駐車場利用台数													(単位:台)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	992	715	533	646	725	624	701	747	484	569	265	669	7,640
H23年度	1,107	661	578	692	669	645	978	1,035	583	1,228	1,001	1,326	10,503
H24年度	1,346	294	704	696	791	655	732	750	427	564	510	932	9,031
伸び率(H23/H22)	111.6%	92.4%	108.4%	107.1%	92.3%	103.4%	139.5%	138.6%	120.5%	215.8%	377.7%	198.2%	136.9%
伸び率(H24/H22)	135.7%	129.2%	132.1%	107.7%	109%	105.0%	104.4%	100.4%	88.2%	99.1%	192.5%	139.3%	117.7%

2-5 先行事例 堺市 ふとん太鼓

ふとん太鼓とは大阪府河内・泉州地方や、兵庫県播磨・淡路その周辺で担がれる大型の太鼓台のことである。高さ約4メートル、総重量約3トンにも及ぶふとん太鼓を一斉に担いで練り歩く。その中でも、堺市のふとん太鼓を先行事例とする。堺市のふとん太鼓のルーツは古く、現在の開口神社である三村宮にはすでに神輿や鉦と共に、現在のふとん太鼓と言われている太鼓山が描かれている。

芦原濱、大南戸川、北戸川、新在家濱、四単組で堺まつりふとん太鼓連合保存会を発足した。堺まつり振興会を発足させ昭和49年第1回堺まつりが始まる。昭和62年、堺まつりふとん太鼓連合保存会はグッズ制作に着手しテレホンカード、カレンダー、各単組写真入りワンカップ(酒)、各単組ミニハッピー、ふとん太鼓イラスト入りTシャツを販売した。堺まつりふとん太鼓連合保存会、維持運営を目的とし賛助会員(協賛金)の募集を始めた。平成5年、御堂筋パレードに、堺まつりふとん太鼓連合保存会は参加した。

他にも、堺市政令指定都市を記念して、前夜祭完全生中継をJCOM全ネットにて放映し、フリーペーパーの制作を行うなどプロモーション活動を進めてきた。その結果、ふとん太鼓が参加した堺まつりには、691,100人の来場者数の結果が出た。

3章 アンケート調査・現地調査

3-1 アンケート概要

大学生に岸和田についてアンケートを実施した。

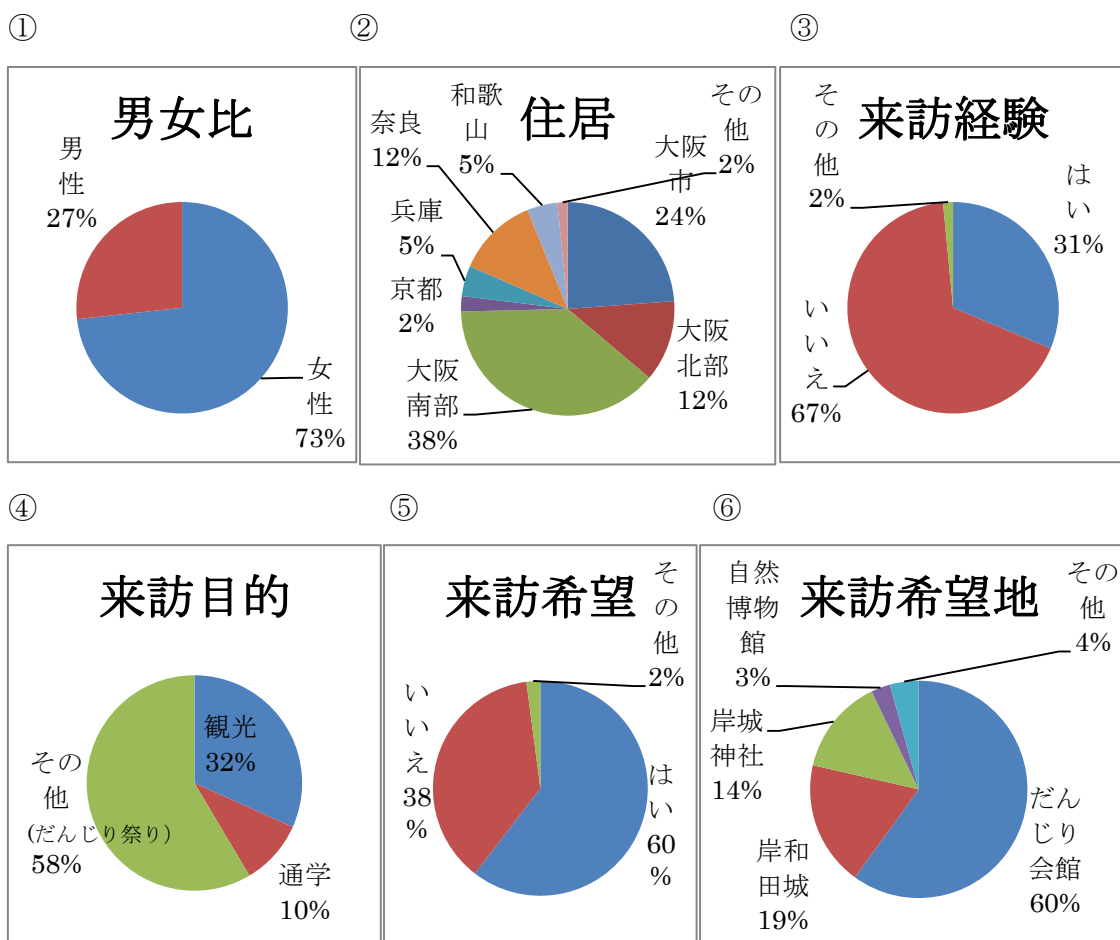
<実施内容>

- ・実施日時 2013年12月17日～2014年1月7日
- ・対象者 大学1回生～4回生
- ・対象人数 135名

<質問内容>

- ① 男女比
- ② 現在の居住地
- ③ 岸和田市への来訪経験
- ④ 岸和田市への来訪経験がある方の来訪目的
- ⑤ 岸和田市への来訪経験がない方の来訪希望調査
- ⑥ 岸和田市への来訪希望者の来訪希望地

3-2 アンケート結果・分析



アンケートの結果によると、岸和田市へ来訪経験がある人の目的は、約6割がその他であり、その多数がだんじり祭りと答えている。観光という項目があるにも関わらず、だんじり祭りはその他として回答していることから、観光に含めないと考えていることが分かる。また、岸和田市に来訪経験がない、約6割の方々が岸和田市に来訪希望があり、だんじり会館に興味があることが分かった。このように岸和田市以外でも、だんじ

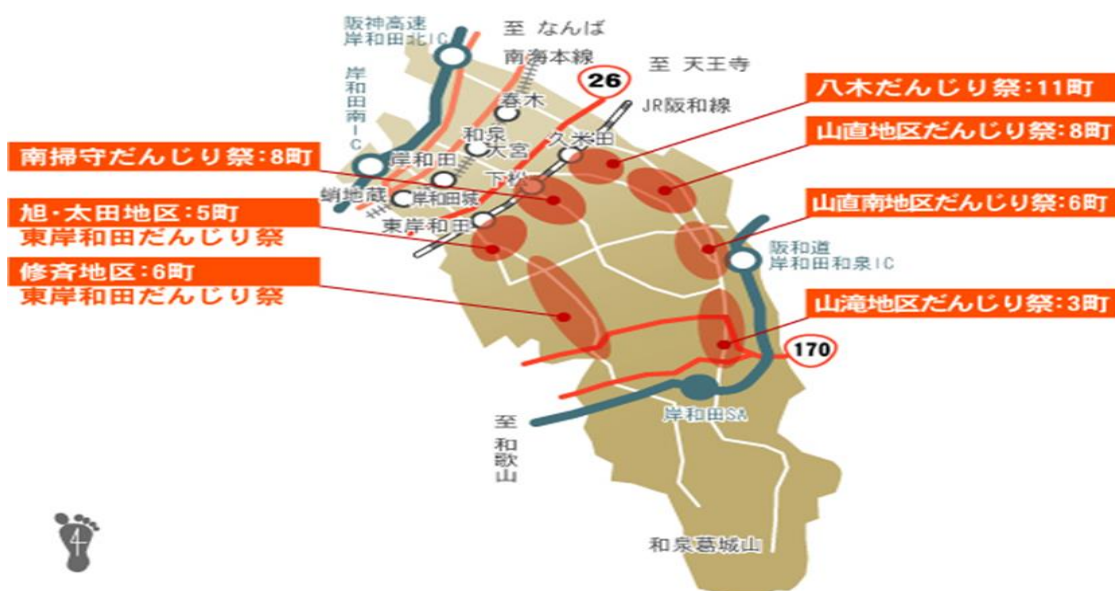
り祭りは認知されているにも関わらず、実際の来訪経験に繋がっていないことが分かった。

3-3 ボランティアガイドのまちあるき参加報告

2013年11月8日(金)に岸和田ボランティアガイドの川上勝晴氏に岸和田のおすすめスポットをまちあるきした。南海岸和田駅前にはだんじりが走り抜ける岸和田駅前商店街があり、「だんじりの町」ならではの工夫が数多くされていた。やはり、岸和田といえばだんじりという印象を受けた。商店街はシャッターが閉まっている店もちらほらあるが、地域住民の憩いの場として開いている店は賑わっていた。地域住民は気さくな方々でアットホームな雰囲気であった。さらに豊富な観光資源を無駄にすることなく案内板など造り活かしていた。歴史的建造物だけではなく、他国の建造物などもあり興味深い町となっている。現在、ボランティアガイド利用者の年齢層はシニア世代がほとんどを占めていて、20～30代の観光客はあまり見かけることがない。

3-4 岸和田だんじり祭り 9月祭礼と10月祭礼

だんじり祭とは、大阪府泉州地域などにおいて毎年秋に開催され、山車にだんじり・地車が用いられる祭のことをいう。大阪府岸和田市で行われる、岸和田だんじり祭は、9月の敬老の日直前の土曜と日曜にそれぞれ宵宮・本宮として行われている9月祭礼と、10月の体育の日直前の土曜・日曜に山手の6地区で行われる10月祭礼がある。



(引用：岸ぶらホームページより)

3-5 ヒアリング調査

●岸和田市役所観光振興課へのヒアリング

2013年11月14日(木)、産業復興部観光課の松野匡秀氏に岸和田市観光の現状について伺った。岸和田市としては第一に「城とだんじりの町」が観光客のイメージになっていると考えている。そのほかにも、NHK朝の連続ドラマ「カーネーション」の舞台となった経緯もあり、放送後から現在に至るまでロケ地に観光客の来訪が続いている。また、有名建築家が手掛けた銀行などの建築物など多くの観光資源がある。

大阪ミュージアム構想の助成金を5年間受けているため、町の景観の保全や今では形の残っていない〇〇跡地などの案内板を設置し、過去のイメージまでもアピールした。この綺麗になった町を利用し、岸和田城などでイベントを数回行っている。そのイベントでは、岸和田城に隣接するイタリアンレストランのピザ釜を使った本格ピザ作りやお菓子作りという内容になっている。通年で体験となると、だんじり会館にあるだんじり太鼓体験のみである。主にだんじりにまつわる来訪者が多いと感じていた。

●岸ぶら編集部へのヒアリング

2014年1月11日(土)、岸ぶら編集部の渡邊隆氏に岸ぶらの運営方法やプロモーション方法について伺った。渡邊氏は、PU-PAというまちづくり会社の社長として会社運営もしている。渡邊氏は、観光振興で町を元気にしたいという熱い思いのもと岸和田市のプロモーション活動に取り組んでいる。岸ぶらは、ブログ形式で運営しており、立候補者から選ばれた市民が自由に記事を掲載することで、市民の目線から岸和田の魅力を発信している。渡邊氏は、そのホームページの仕組みづくりを行っているという形である。これからは、より深く広い情報発信に努め、だんじりと連動して、もっと岸和田市の魅力を上手く宣伝していきたいと語る。また、これから高齢化が進んでいく上で、岸和田市の歴史などを語ることでのお年寄り重要な財産であり、お年寄りが観光客や地域住民に熱く語れるようなまちづくりを推進していきたいという意向も伺えた。

●岸ぶらブロガーへのヒアリング

2014年2月8日(金)、岸ぶらのホームページ内にてブログ記事をアップしている、永谷裕久氏に10月祭礼の現状と永谷氏が行っている活動について伺った。永谷氏が東岸和田市で500人を対象に行ったアンケートによると、10月祭礼に訪れている観光客の半数が日本全国の各地から来ているという。しかし、岸和田市に観光客が集中するのは、9月祭礼と10月祭礼が開催されているときである。永谷氏は、1年を通して岸和

田に観光客が訪れるようになるのが、理想だという。そこで、永谷氏は1年を通して、地車を公開する活動を行っている。しかし、そういった活動は一般的に知られていないのが現状である。この背景には、ボランティアガイドへの申し込みの際に、観光客自ら申し出ることでは公開されない仕組みになっている。

3-6 分析

9月祭礼、10月祭礼と話を伺ううちに、それぞれの特徴があることがわかった。9月祭礼では、カンカン場といわれるS字カーブや商店街を走り抜ける迫力満点の場を見ることができる。10月祭礼では、交差点やのどかな田園風景とのコラボレーションが見られる。このようにだんじり祭りと一括りに言い表しても異なる祭りになる。両者ともに優れた点があり、今後もだんじり文化を保全していくことが重要となってくる。アンケート結果によっても、岸和田のだんじり文化に興味を持つ人は多く存在していた。こうしたことから、一年間を通してだんじり文化に触れてもらえる機会を作り、観光客誘致やだんじり文化継承に繋げていくことが重要だと感じた。さらに知ってもらうために、多くの人の目に留まるプロモーションをし、拡大していくことの大切さを感じた。

4章 岸和田市のこれから

4-1 課題点

この研究を通して、岸和田市にはだんじり祭りを目的とした観光客が主となっており、年間の観光客数に波があることが分かった。また、だんじり祭りは認知されているが、各地域の組織が細分化されており、現在まとめ役として機能する組織が存在していない。したがって、情報が点在していて来訪客にとっては情報が多すぎ、どこに注目すべきか分かりにくくなっている。各地域にそれぞれの優れた点があるので、これを有効活用するためには観光案内所などに総括する窓口が必要と考える。そうすることで、観光客の手間を省き、興味を促進することも可能になる。このような点が、通年を通してのだんじり文化観光にとっての課題点と考える。

4-2 提案

先ほどの課題点でも提示したように、岸和田に訪れる観光客は、だんじり祭りのある9月祭礼と10月祭礼時に集中しており、それ以外の期間にはあまり観光客は訪れてない。そこで、私たちは一年を通してだんじり祭りの文化に触れられるような機会を設け

ることを考えた。その内容がチームで宣伝用のチラシを制作し、観光案内所に設置して貰うことで発信する方法とした。

しかし、現在の岸和田市には観光案内所などしか観光客が直接訪れることのできる窓口がない為、多くの人の手に渡る機会が少ない。その上、岸和田市に数多く存在する観光団体をまとめる組織もない。なので、そういった岸和田市の組織を総括し、観光客の受付窓口のような存在が必要と考える。

(チーム作成、宣伝用チラシ)

岸和田だんじり地車 見学会

岸和田だんじりの地車をもっと近くで
見てみないですか？

山車の細やかで繊細な彫刻や山車の圧倒される迫力を体
感してみましよう＼(^o^)/

各地域の歴史や文化に魅了されるような体感は、

ここでしか感じられません！！

是非、ご参加ください♪



詳しい情報：予約申し込みは岸和田ボランティアガイドホームページまで

http://kishibunz.jp/2010/07/29/post_2/index.html

電話072-436-0914 だんじり会館内

